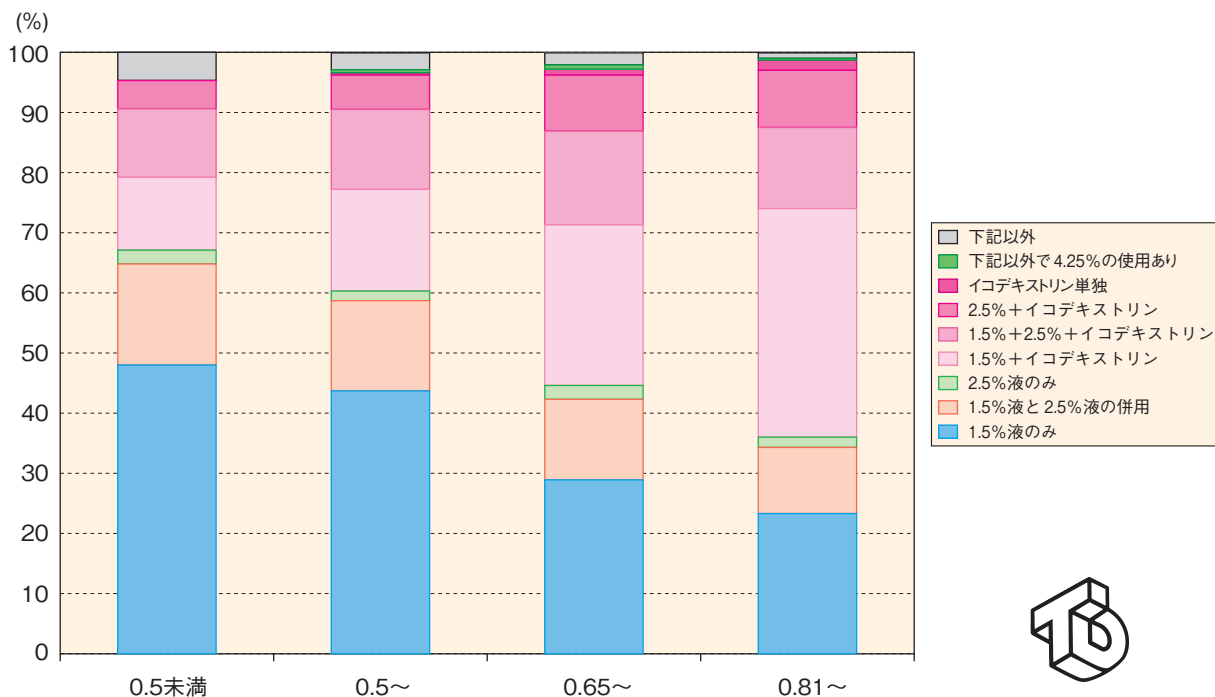


3) 腹膜透析調査

(5) PET D/P Cr比と使用透析液 (図表39)



使用透析液の種類	0.5未満	0.5～	0.65～	0.81～	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
1.5%液のみ (%)	143 (48.0)	457 (43.7)	315 (28.9)	81 (23.3)	996 (35.8)	757 (37.2)	1,753 (36.4)	0.62	0.13
1.5%液と2.5%液の併用 (%)	50 (16.8)	157 (15.0)	146 (13.4)	38 (11.0)	391 (14.1)	325 (16.0)	716 (14.9)	0.63	0.14
2.5%液のみ (%)	7 (2.3)	17 (1.6)	25 (2.3)	6 (1.7)	55 (2.0)	77 (3.8)	132 (2.7)	0.64	0.15
1.5%+イコデキストリン (%)	36 (12.1)	177 (16.9)	291 (26.7)	132 (38.0)	636 (22.9)	389 (19.1)	1,025 (21.3)	0.70	0.13
1.5%+2.5%+イコデキストリン (%)	34 (11.4)	139 (13.3)	170 (15.6)	47 (13.5)	390 (14.0)	222 (10.9)	612 (12.7)	0.66	0.12
2.5%+イコデキストリン (%)	14 (4.7)	60 (5.7)	101 (9.3)	33 (9.5)	208 (7.5)	156 (7.7)	364 (7.6)	0.68	0.14
イコデキストリン単独 (%)	0	4 (0.4)	11 (1.0)	6 (1.7)	21 (0.8)	35 (1.7)	56 (1.2)	0.74	0.11
上記以外で4.25%の使用あり (%)	0	5 (0.5)	8 (0.7)	1 (0.3)	14 (0.5)	9 (0.4)	23 (0.5)	0.69	0.08
上記以外 (%)	14 (4.7)	29 (2.8)	22 (2.0)	3 (0.9)	68 (2.4)	66 (3.2)	134 (2.8)	0.60	0.11
合計 (%)	298 (100.0)	1,045 (100.0)	1,089 (100.0)	347 (100.0)	2,779 (100.0)	2,036 (100.0)	4,815 (100.0)	0.65	0.13
不明	0	0	0	0	0	5	5		
記載なし	2	3	6	3	14	3,726	3,740	0.68	0.14
総計	300	1,048	1,095	350	2,793	5,767	8,560	0.65	0.13

患者調査による集計

解説

使用透析液に関する調査では4,815人の回答が得られた。1.5%と2.5%のブドウ糖液のみを使用している患者は2,601人 (54.0%)、イコデキストリンを使用している患者は2,057人 (42.7%)、4.25%のブドウ糖液は極めて少数に使用されているのみであった。使用透析液とPET D/P Cr比の両方を記載している患者は2,779人であり、腹膜透過性の亢進している患者ほどブドウ糖液を使用している患者の割合は低下し、イコデキストリンを使用する患者が多かった。